



			内容			
			CCUA	CCUB	CCUC	
回線容量 *1	局線	アナログ回線	64	128	192	
		INS64	32	64	96	
		INS1500	4	8	12	
		ひかり電話オフィス(チャネル数) *4	32	64	96	
	専用線	OD	16	32	48	
		LD	16	32	48	
	内線	内線IP	IP多機能電話機	32	128	192
			SIP電話機	32	128	192
			IP対応PHS接続装置	48		
		線	多機能電話機	32	128	192
	一般電話機		32	128	192	
	ハンドルコードレスホン		20			
事業所用 PHS	接続装置(親機)		24	48	72	
	端末(子機)	200				
ドアホン／TVドアホン		16	32	48		
交換方式	制御方式	蓄積プログラム制御				
	通話路方式	時分割PCM方式				
トラフィック容量	1内線あたり	6HCS				
電源装置	入力電圧	AC100±10% (50～60Hz)				
環境条件	温度	0～40℃				
	湿度	20～85% (結露なきこと)				
主装置寸法 および質量	幅(mm)	約400				
	高さ(mm)	約350(約600) *2	約700(約950) *2	約1,050(約1,300) *2		
	奥行き(mm)	約250				
	重さ(kg) *3	約12(約22) *2	約24(約34) *2	約36(約46) *2		
設置方式	19インチラック取り付け/床設置					

*1 組み合わせオプションの実装により最大数は変わります。 *2 () 内は、バッテリーキャビネット実装時の最大値です。 *3 蓄電池質量は含みません。 *4 1 回線最大 8 チャンネルまでになります。

■装置設置後3年を目安にバッテリー (鉛蓄電池) の交換が必要になります。バッテリーの充放電回数が多いとさらにバッテリーの寿命が短くなります。

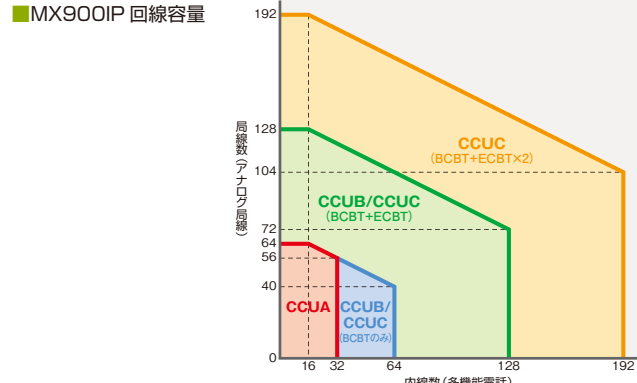
■事業所用PHSの電池パックは消耗品です。使用頻度にもよりますが、約1年程度ご使用になります。長時間充電してもすぐに電池の残量が少なくなる場合は新しい電池/パック (別売品) に交換してください。

■本製品には有寿命部品 (電源パックなど) が含まれています。本製品の安定稼働期間は製品納入後6年です。

■海岸の近くや直接潮風が当たる場所、温泉地の硫黄環境への設置は避けてください。塩害などにより製品寿命が短くなります。(設置する必要がある場合は、弊社担当営業または販売店に事前にご相談ください。)

■本製品を最適な状態でご使用いただくため、定期点検などによる事前予防が重要です。またBCP (事業継続計画) の観点から保守契約をお願いしております。

保守サービスに関する詳細内容については、弊社担当営業または販売店にお問い合わせください。



・日本語変換にはオムロンソフトウェア (株) のミニWnnを使用しています。
 ・"Mini Wnn" OMRON SOFTWARE CO.,LTD 2000-2002
 ・"IW-VPN"は、株式会社ウィルコム の商標です。
 ・"FOMA"、"Onezone"は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
 ・その他記載の、会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

CommuniMax

MX900IPは、日立グループ「環境情報表示制度」に基づき環境性能を評価し、適合した製品です。

- 接続可能端末種別及びIP端末接続台数向上による性能アップ
- 二次電池使用量の削減

詳しい環境情報は、当社のホームページで、ご覧いただけます。
<http://www.hitachi.co.jp/environment/>

安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。

●カタログに記載の仕様、外観は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。 ●カタログに記載の機能・仕様によっては、製品のバージョンアップが必要となる場合があります。製品のバージョンについては弊社担当営業にお問い合わせください。 ●製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。 ●本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- 製品情報サイト
<http://www.hitachi.co.jp/network/>
- インターネットでのお問い合わせ
<http://www.hitachi.co.jp/network/contact/>

◎株式会社 日立製作所 情報・通信システム社 通信ネットワーク事業部

日立IP-PBX NETTOWER MX900IP

HITACHI
Inspire the Next

ビジネスに新たな推進力を。

NETTOWER
MX900IP



uVALUE with Harmonious Computing

本カタログは Adobe 社 Acrobat により制作した PDF カタログです。All Rights Reserved, Copyright ©2011, Hitachi, Ltd.

新しいコミュニケーションインフラ“IP”がもたらす進化を、
いかにあなたの会社の成長に結びつけるか――。

企業の数だけあるその解答へと導くのが、日立のIP-PBX「NETTOWER MX900IP」です。

通信コストの削減、オフィスワークの効率化、将来性を見据えたネットワークの構築など、

それぞれの目的に応じた着実なIP導入をしっかりとサポートします。

「IP & モバイル」を、
頼れるビジネスツールに、
経営の追い風に。



Reasonable

コミュニケーションに関するコストを削減したい。

- ▶▶ IP利用などで通信コストを削減できます。……………4 P ●
- ▶▶ モバイル利用によりコストを削減できます。……………5 P ●

Speedy

いつでも迅速なコミュニケーションを可能にしたい。

- ▶▶ 支店・営業所などとの拠点間コミュニケーションが強化できます。……3 P ●
- ▶▶ 留守中や休業日でもボイスメールがしっかりフォローします。………8 P ●

▶▶▶ **コミュニケーションへの要望!を
「MX900IP」がまとめて実現!!**

Smooth

スムーズな対応でお客さまの満足度を高めたい。

- ▶▶ 移動先でもモバイル端末で迅速に対応できます。……………5 P ●
- ▶▶ 外出中の電話も留守番電話で対応できます。……………8 P ●
- ▶▶ サービスに直結する機能でお客さまの好感度を高めます。……………9 P ●

Progress

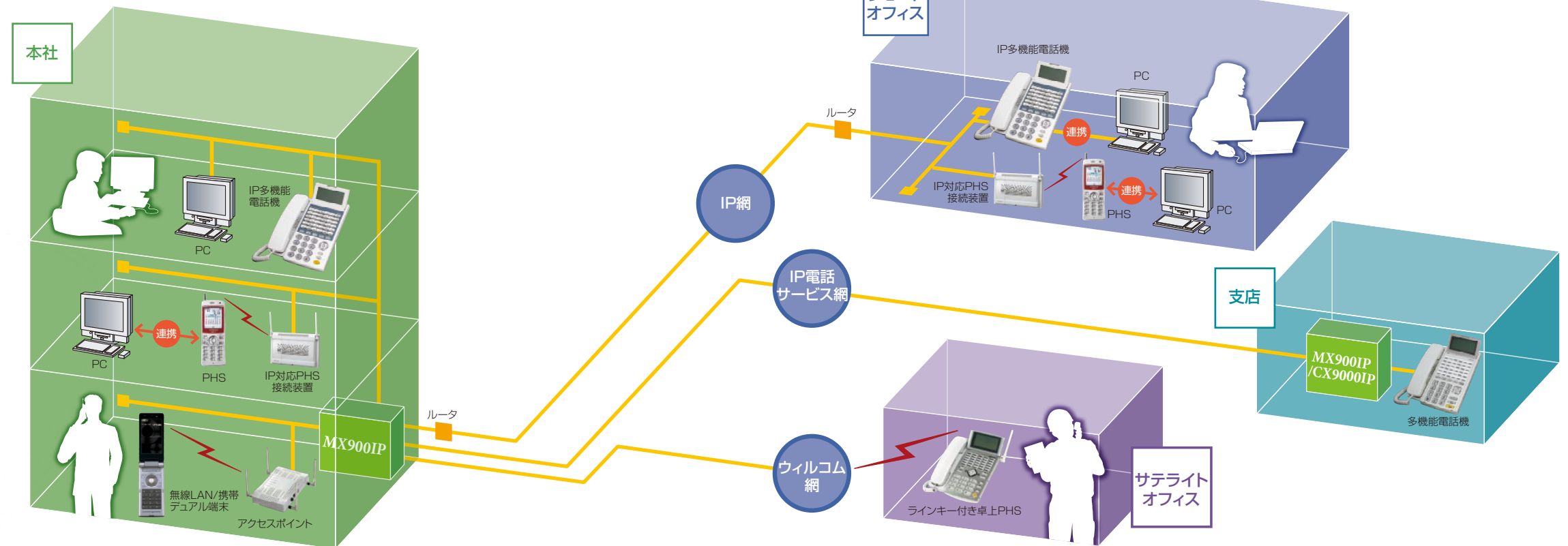
毎日のコミュニケーション業務を効率アップしたい。

- ▶▶ PCとの連携で業務の効率をアップできます。……………7 P ●
- ▶▶ 煩わしい迷惑電話の着信を拒否できます。……………10 P ●

**NETTOWER
MX900IP**

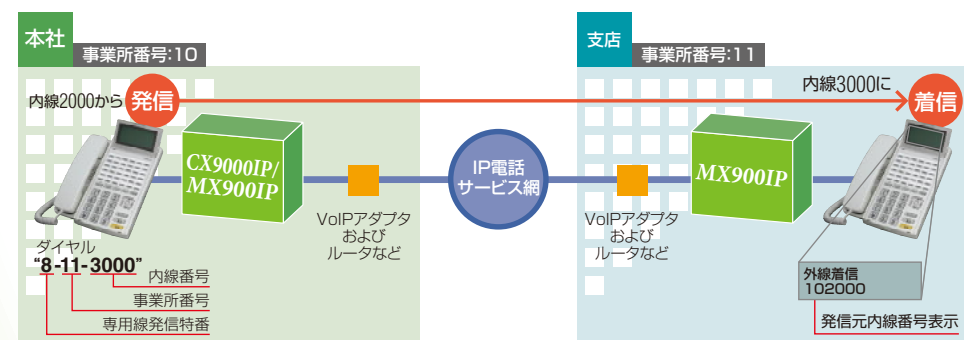
IPネットワークサービス

コストを削減し、拠点間コミュニケーションを強化する。
MX900IPなら、目的に応じたIP効果をスムーズに獲得できます。



拠点間内線統合（簡易専用線機能） 内線のように使えて、しかも割安

IP電話サービスなどの回線を利用して、内線相互接続の発着信が行えます。



※契約料・月額基本料・通話料などの料金およびサービスの詳細については、契約する電話サービス会社にご確認ください。
※IP電話サービスを利用するために必要な機器は、契約する電話サービス会社によって異なります。
対応機器の詳細および入手方法は、契約する電話サービス会社にご確認ください。

拠点間内線統合（PHSローミング） 他の拠点でも同じ内線番号が利用できる

IP電話サービスなどの回線を利用して、PHSローミングが行えます。「MX900IP」を利用している支店や営業所などに行っても、いつもの内線番号で発着信できます。

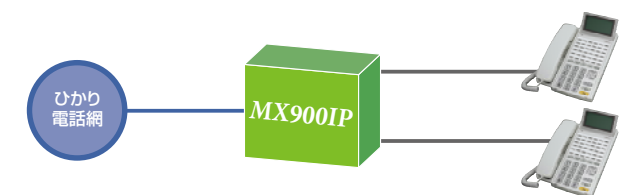


ひかり電話接続

番号を変えずに*、お得な「ひかり電話」が使える

「ひかり電話オフィスタイプ」を、アダプタなしで接続できます。
電話番号はそのまま*、料金がお得なひかり電話サービスを利用できます。

* 一部番号をそのまま利用できない場合があります。
詳しくはNTT東日本、NTT西日本にご確認ください。
※ひかり電話オフィスタイプ1契約で利用できるユニット数は1ユニットです。
※「ひかり電話ビジネスタイプ」のサービスを利用する場合は、外付けのひかり電話対応アダプタが必要です。ひかり電話対応アダプタはNTT東日本、NTT西日本からの供給となります。
なお、交換機とのインターフェースは、アナログまたはISDNインターフェースとなります。
※ひかり電話はNTT東日本、NTT西日本が提供するIP電話サービスです。
※ひかり電話のご利用には別途NTT東日本、NTT西日本との契約が必要です。

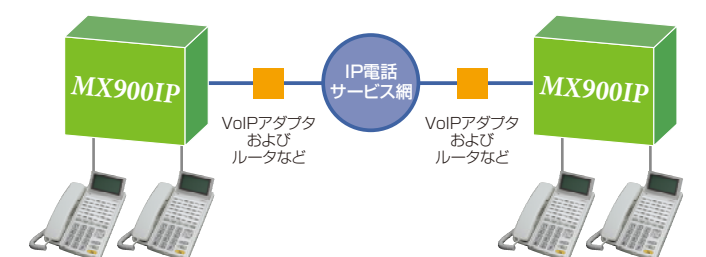


IP電話サービス（マルチキャリアサービス）

お得なサービスを選べます

同一プロバイダーと契約すれば拠点間通話を無料で利用できるサービスや、現在お使いの電話番号を変更せずにIP電話に移行できるサービスなど、多彩なサービスに対応しています。

※契約料・月額基本料・通話料などの料金およびサービスの詳細については、契約する電話サービス会社にご確認ください。
※IP電話サービスを利用するために必要な機器は、契約する電話サービス会社によって異なります。対応機器の詳細および入手方法は、契約する電話サービス会社にご確認ください。



モバイルソリューション

**社内のどこでも、外出中でも速やかに対応。
ビジネスチャンスを逃がさないコミュニケーション環境を実現します。**

事業所用PHS

社内のサービスエリア内など、どこでも通話できる

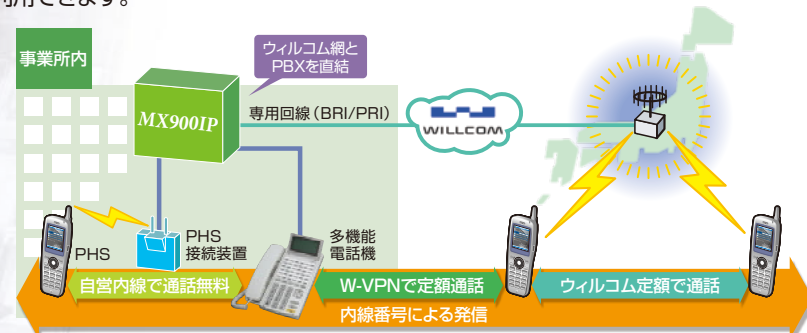
社内のサービスエリア内など、どこでも通話ができ、ビジネスチャンスを逃しません。また、配線工事不要でレイアウト変更にも柔軟に対応できます。日立の事業所用PHS (HI-D7PS、HI-D6PSII) のほか、ウィルコム(PHS)端末も利用できます。さらに、ラインキー付きPHS (HI-D5PS) を使用すれば、ボタン着信や共通保留など多機能電話機と同じような使い勝手を実現します。



ウィルコム W-VPN連携

外出中も内線番号で通話できる

「MX900IP」とウィルコムのネットワークを専用回線で接続すれば、内線電話と登録したPHSが内線番号で通話できます。社員が外出していても内線番号で発着信できるので、かけ直しなどの手間が省けます。また、通話が定額なので、通信コストの削減にも効果的です。本サービスは、ラインキー付き卓上PHSでも利用できます。



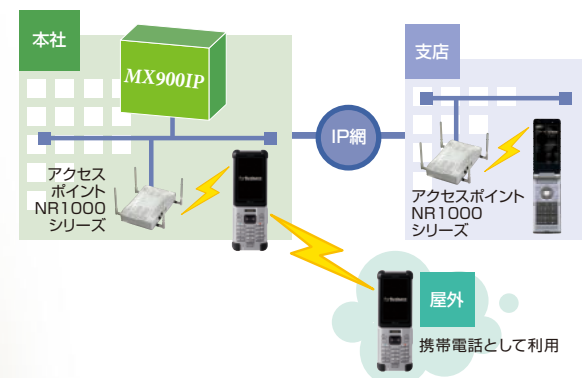
※「W-VPN」のご利用には、PBXとウィルコム網を接続する専用回線のご契約が必要です。(建物の構造や立地条件等により専用回線をご利用いただけない場合があります。その場合、「W-VPN」はご利用いただけません。)
※「W-VPN」に登録する電話機は、新ウィルコム定額プラン、もしくは新トリプルプランへのご加入、およびW-VPN内線オプションのご契約が必要です。

※専用回線経由の場合、内線網からはウィルコムの電話機以外へは発信できません。
※専用回線経由の場合、内線網へはW-VPN登録済みの電話機以外から着信できません。

FOMA®、au連携

1台の端末が内線にも携帯にも使える

無線LAN/携帯デュアル端末を使って、企業内モバイルセントレックスを構築できます。支店や営業所などに行ってもいつもの内線番号で通話でき、外出時には携帯電話として利用できます。内線エリアから外れたときは自動的に携帯番号に転送することもできるので、社内・社外を意識する必要がありません。無線LANに対応したNTTドコモ携帯、KDDIのau携帯が利用できます。



ラインキー付き卓上PHS「PHS-30DA」

配線不要でレイアウト変更が簡単

配線工事不要で、オフィスのレイアウト変更も簡単。搭載したラインキーによる操作で局線の発着信、保留応答などの機能を利用できます。

主な特長

- 配線が不要なので、オフィスにレイアウトの変更があっても柔軟に対応することができます。座席を固定しないフリーアドレスオフィスにもおすすめです。
- ハンズフリー対応で、どこでも簡易音声会議*が行えます。
- ユーザビリティにすぐれたデザインと大型7色LCDを搭載して、使いやすさと見やすさを両立させた卓上型のPHSです。
- 電話帳のグループごとに着信音とバックライト色を設定できます。「お客さま」「社員」などをあらかじめ識別することで、スムーズな対応ができます。

* 簡易音声会議では、使用環境により通話に影響が出る場合があります。



※ディスプレイのバックライト色は印刷のため、実際の表示とは異なります。



W-VPNでの利用方法

サテライトオフィスやテレワーカーといった端末の設置台数が少ない拠点や、工事現場事務所など短期間のみ電話機の設置が必要となる施設において、特別な設備を設置することなく内線網をすばやく簡単に構築することができます。また、通話料金が定額となるので、通信コストを削減することもできます。

※W-VPNサービスを利用している時、ラインキーは局線ボタンとして利用することはできません。ワンタッチキーとしてのみ利用可能です。



主な機能

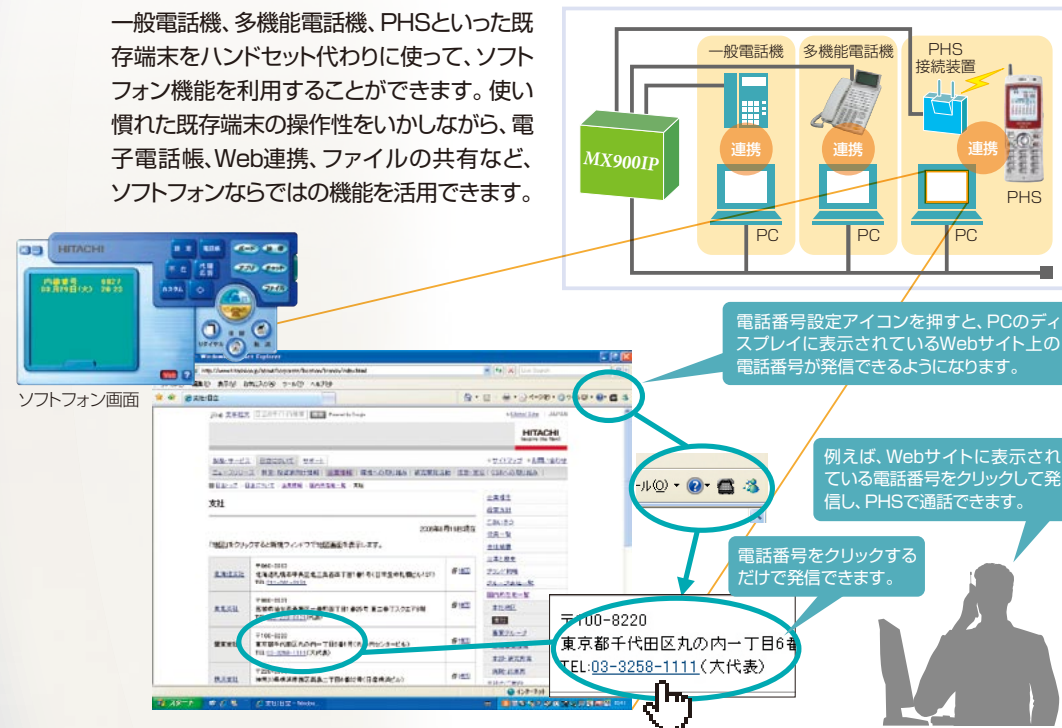
今までにない便利さと、従来どおりの使いやすさを両立。
多彩な機能が社員にゆとりをもたらし、お客さまには好印象を与えます。

PC連携 (ソフトフォン)

一般電話機・多機能電話機・PHSのPC連携

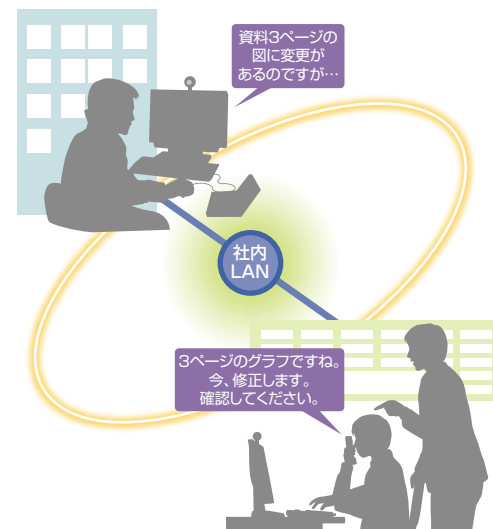
使い慣れた端末で先進のコミュニケーション機能が使える

一般電話機、多機能電話機、PHSといった既存端末をハンドセット代わりに使って、ソフトフォン機能を利用することができます。使い慣れた既存端末の操作性をいかながら、電子電話帳、Web連携、ファイルの共有など、ソフトフォンならではの機能を活用できます。



アプリケーション共有 / TV電話 デスクにしながらTV会議が行える

PC連携やソフトフォン同士でアプリケーションを共有することができます。同じ画面を見ながら会話ができるので、言葉だけでは伝えられない微妙なニュアンスも的確に相手に伝えることができます。また、通話では、USBカメラを使用した一対一の簡易TV会議を行うことができます。フェイス to フェイスのコミュニケーションが行え、すばやい意思決定が可能になります。

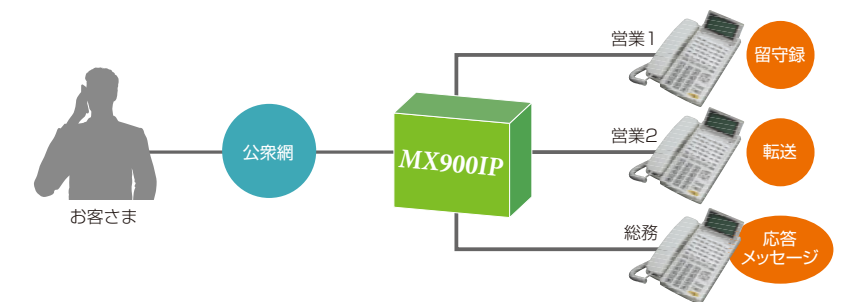


内蔵ボイスメール

お客さまからの重要なお話、あるいは取り次ぎ事項などを電話機からの簡単な操作で録音することができます。

留守録機能

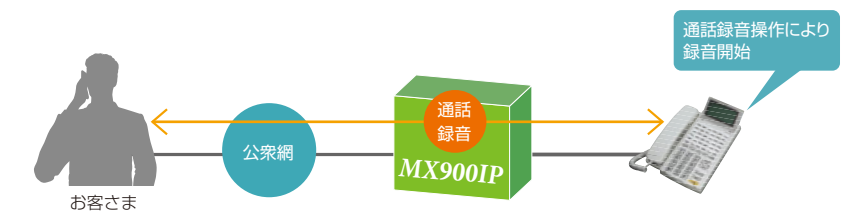
部署のダイヤルイン着信番号ごとに留守録音、応答メッセージ、転送などの機能を設定できます。例えば、営業のグループや部署ごとに、使いたいサービス機能を設定できます。また、外出先から携帯電話のダイヤル操作で録音内容を確認することができます。



通話録音

通話内容を簡単操作で録音できる

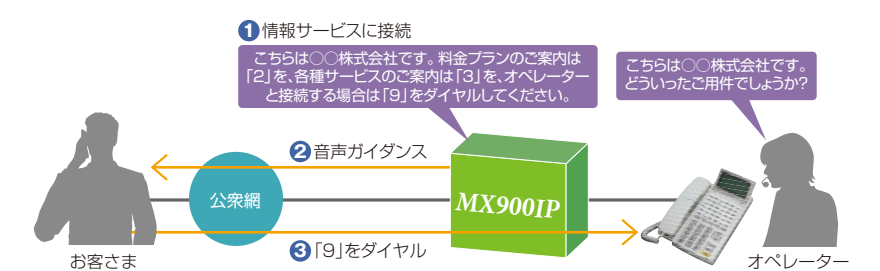
お客さまからかかってきた電話の内容や取り次ぎ事項などを、電話機からの簡単な操作で録音することができます。電話を受けた人がメモを取る必要もなく、通話相手の声の調子などもそのまま記録することができます。



情報案内サービス

24時間いつでもお客さまに対応できる

昼夜を問わずお客さまが必要とする情報を提供することによって、サービスの向上が図れます。また、ダイヤル操作によって直接オペレーターと通話することができます。



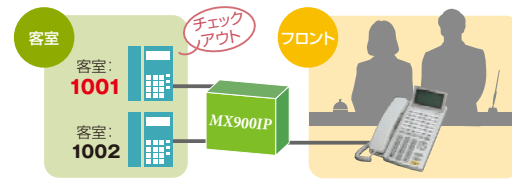
その他の便利機能

業務に応じたアプリケーション機能も豊富。
オフィス、ホテル、病院などのコミュニケーションをしっかりサポートします。

ホテル機能

フロント業務の効率を高めるホテル向けシステム

モーニングコールなどのサービス提供やフロント業務の効率化をトータルにサポートします。例えば、客室情報の確認、チェックイン／チェックアウトの登録、通話料金の精算などを行うことができます。

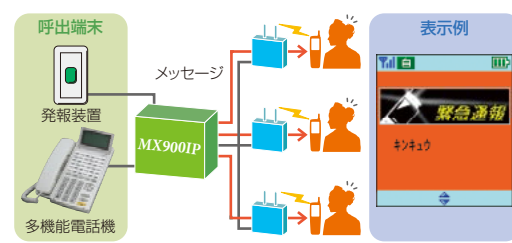


PHS緊急メッセージ通報システム

呼出端末から一斉にメッセージを通報

緊急時に呼出端末から一斉にメッセージを通報することができます。あらかじめ登録したメッセージ*をPHS端末 (HI-D6PSII) へ5秒以内に送信可能。メッセージはPHS端末の画面に表示され、着信履歴にも残ります。病院や店舗、工場や駅などさまざまな業種で活用することができます。

*メッセージは最大で半角9文字(全角4文字)まで表示できます。

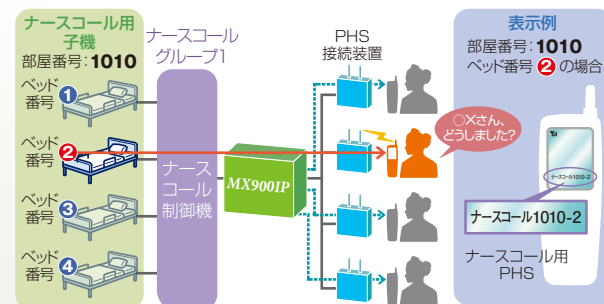


ナースコール連動

患者さんへの迅速な対応をサポートする病院向けシステム

ナースステーションを離れていても、患者さんからのナースコールをPHSで受けることができます。しかも、着信時にPHSのディスプレイに部屋番号やベッド番号を表示できるので、より迅速な対応が行えます。

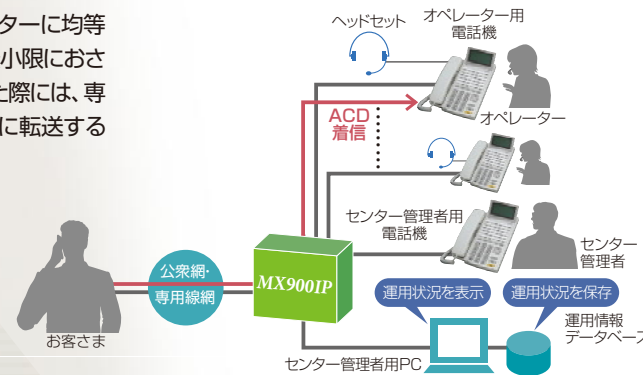
*接続できるナースコール制御機/PHS端末については、弊社営業または販売店にご確認ください。



均等着信機能 (ACD)

受付業務をサポートして発信者の待ち時間をおさえる

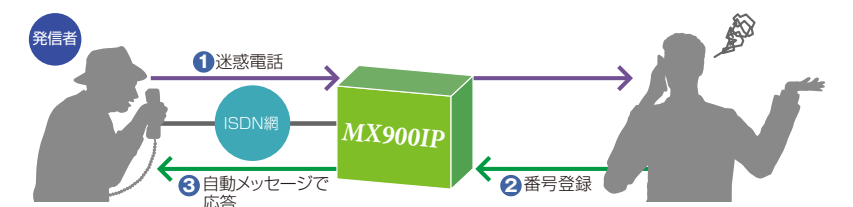
電話を着信順に複数のオペレーターに均等配分して、発信者の待ち時間を最小限におさえます。また、待ち呼が多くなった際には、専用線経由でほかの受付システムに転送することも可能です。



内蔵迷惑電話お断り機能

しつこい迷惑電話をシャットアウト

通信事業者のサービスを利用することなく迷惑電話の防止が行えます。迷惑電話を受けたときその番号を登録しておく、以後同じ番号から着信があっても“電話を受け取れない”というメッセージで応答します。着信拒否番号の登録は、通話中ワンタッチで行えます。

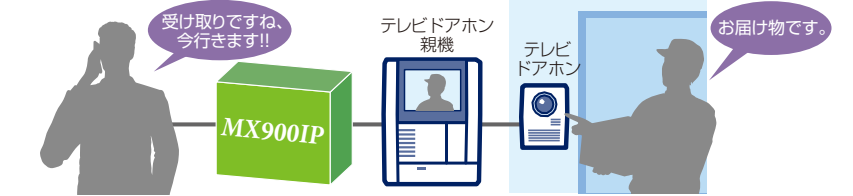


ドアホン／テレビドアホン対応

ドアホンの呼び出しに電話機で応答できる

電話機とドアホンを連動させることができます。事務所の裏口などに設置したドアホン親機からの呼び出しにも、室内の電話機で応答することができます。

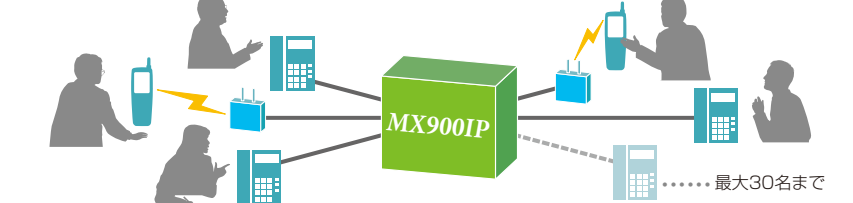
*接続できるドアホン／テレビドアホンについては、弊社営業または販売店にご確認ください。



会議通話サポート

電話で会議ができる

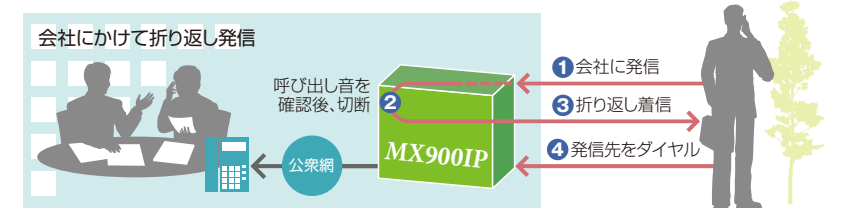
3人以上が同時に通話して、デスクにいなから電話で会議や打ち合わせができます。最大30人での同時通話が可能です。また、会議を始めるときは、一斉指令機能で相手を招集できます。



自動折り返し発信機能 (携帯電話コールバック機能)

会社の通信費用で通話できる

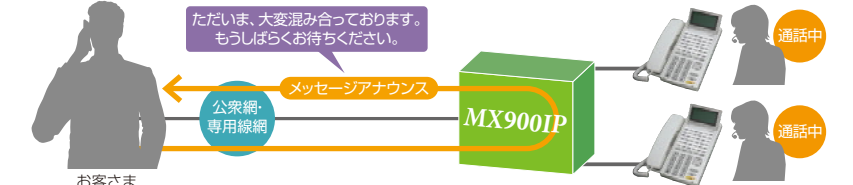
あらかじめ電話番号を登録した電話機から会社へ発信し、呼出音を聞いた後に切断すると、自動的に折り返し接続となり、そのまま内線や外線に発信することができます。会社の通信費用で通話することができます。



お待たせメッセージ機能

メッセージで発信者に状況をお知らせする

応答者が対応できないとき、発信者に対して現在の状況をメッセージアナウンスで伝えることができます。忙しいときでも、お客さまなど発信者のイライラを軽減させることができます。

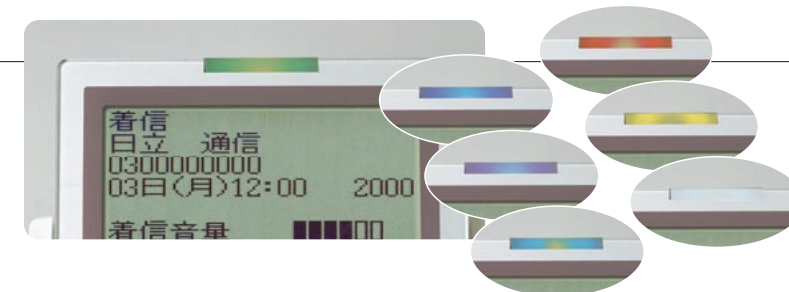


多機能電話機

原寸大



7色の着信ランプで電話の相手を識別可能。
デザイン、機能ともにさらに進化した多機能電話機です。



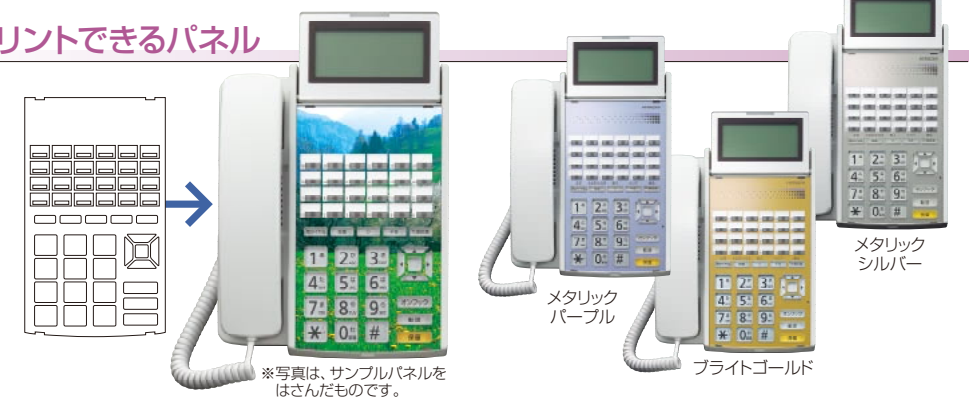
着信表示ランプ

電話帳のグループごとに、着信ランプの色を7色の中から設定できます。「お得意さまからの着信は「赤色」に、一般の外線着信は「青色」に点灯というように、LEDの色でかけてきた相手が識別できるのでスムーズな対応ができます。

※LEDの色は印刷のため、実際の表示とは異なります。
※ボタン着信時には、本機能は利用できません。

好きなデザインをプリントできるパネル

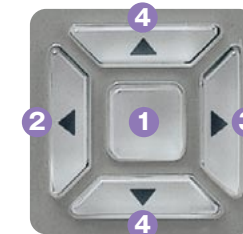
お好みの写真や、色・柄などをホワイトパネルにプリントすることで、オフィスやデスクトップのイメージに合わせたコーディネートが楽しめます。
また、標準色のメタリックローズシルバーのほかに、2色のカラーパネルも用意しています。



十字キー

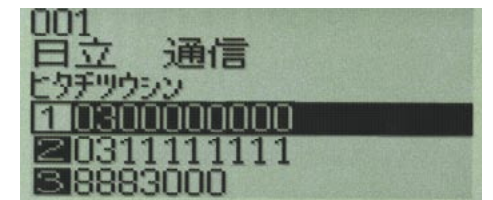
携帯電話感覚で操作できる十字キーを搭載。電話帳の発信者履歴からの発信や、電話帳の設定を簡単な操作で行うことができます。

- ① メニュー画面を起動させるときに使用します。電話帳登録時には、決定ボタンとして使用します。
- ② 待機中に押すことで、電話帳検索機能が起動します。また、発信履歴起動中に押すことで着信履歴に切り替えることができます。
- ③ 待機中に押すことで、発信履歴が起動します。
- ④ 着信音量、スピーカー音量、受話音量の調整に使用します。また、メニューの選択や漢字変換時の変換キーとしても使用します。



電話帳機能

1件の相手につき3つの番号を、最大500件まで登録することができます。

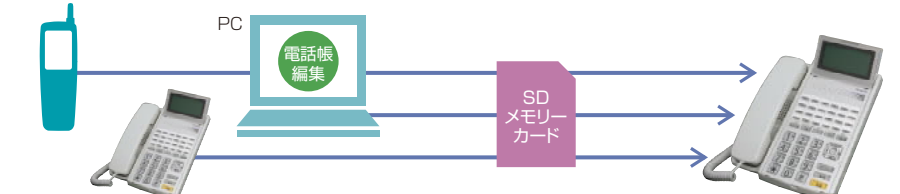


エコ対応(端末待機時省電力)

一定時間操作がないと、バックライトやフリーファンクションキーのランプを自動的に消灯。夜間や休日などの消費電力をおさえることができます。

SDメモリーカード

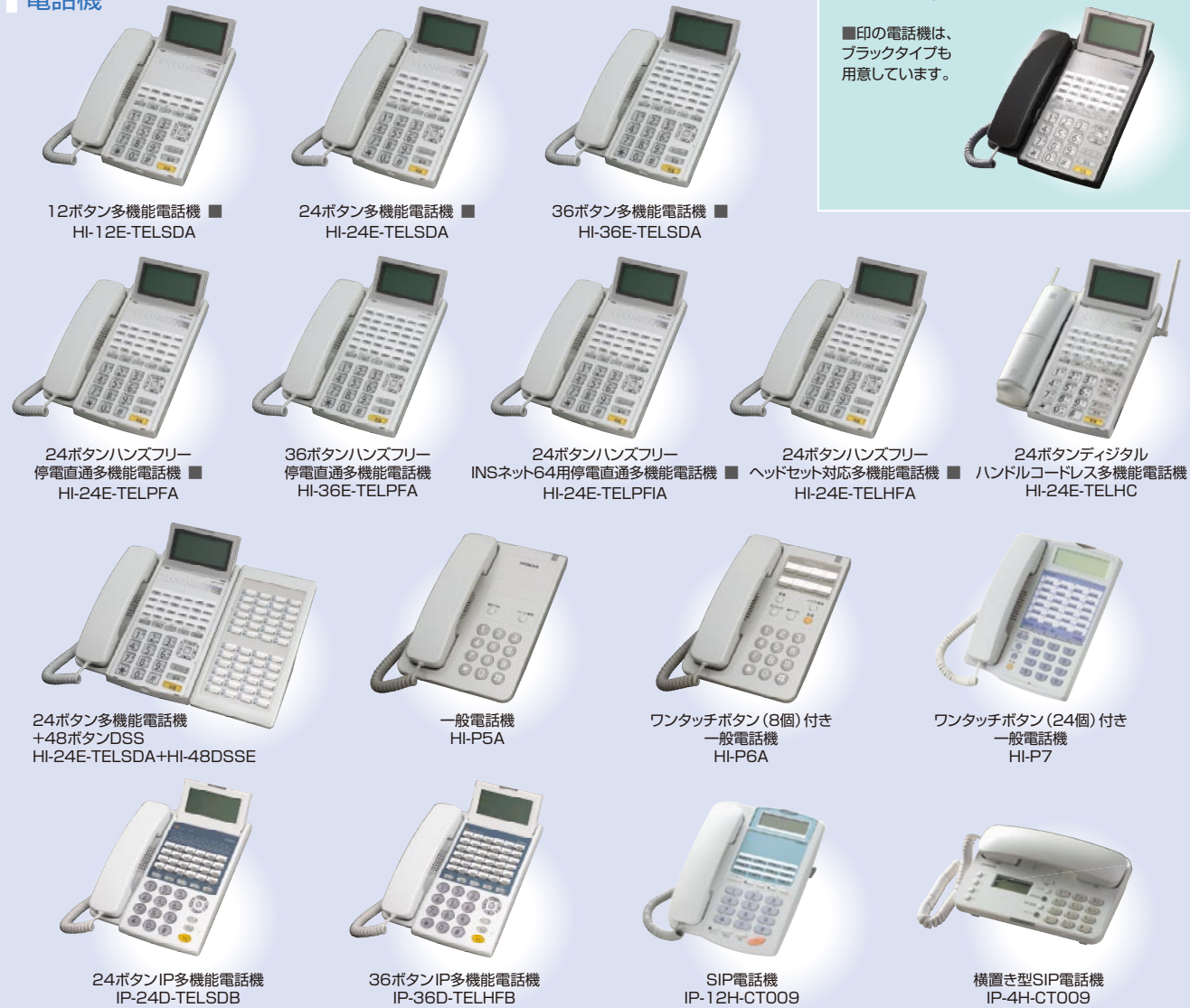
電話帳データをSDメモリーカードに記憶させ、他の多機能電話機にコピーして利用したり、携帯電話機の電話帳データをPCで編集し、SDメモリーカードを介して多機能電話にコピーできます。



電話機ラインアップ・各種端末

**ラインアップも、さらに充実。
電話機、モバイル端末ともに、用途に応じてお選びいただけます。**

電話機



PHS

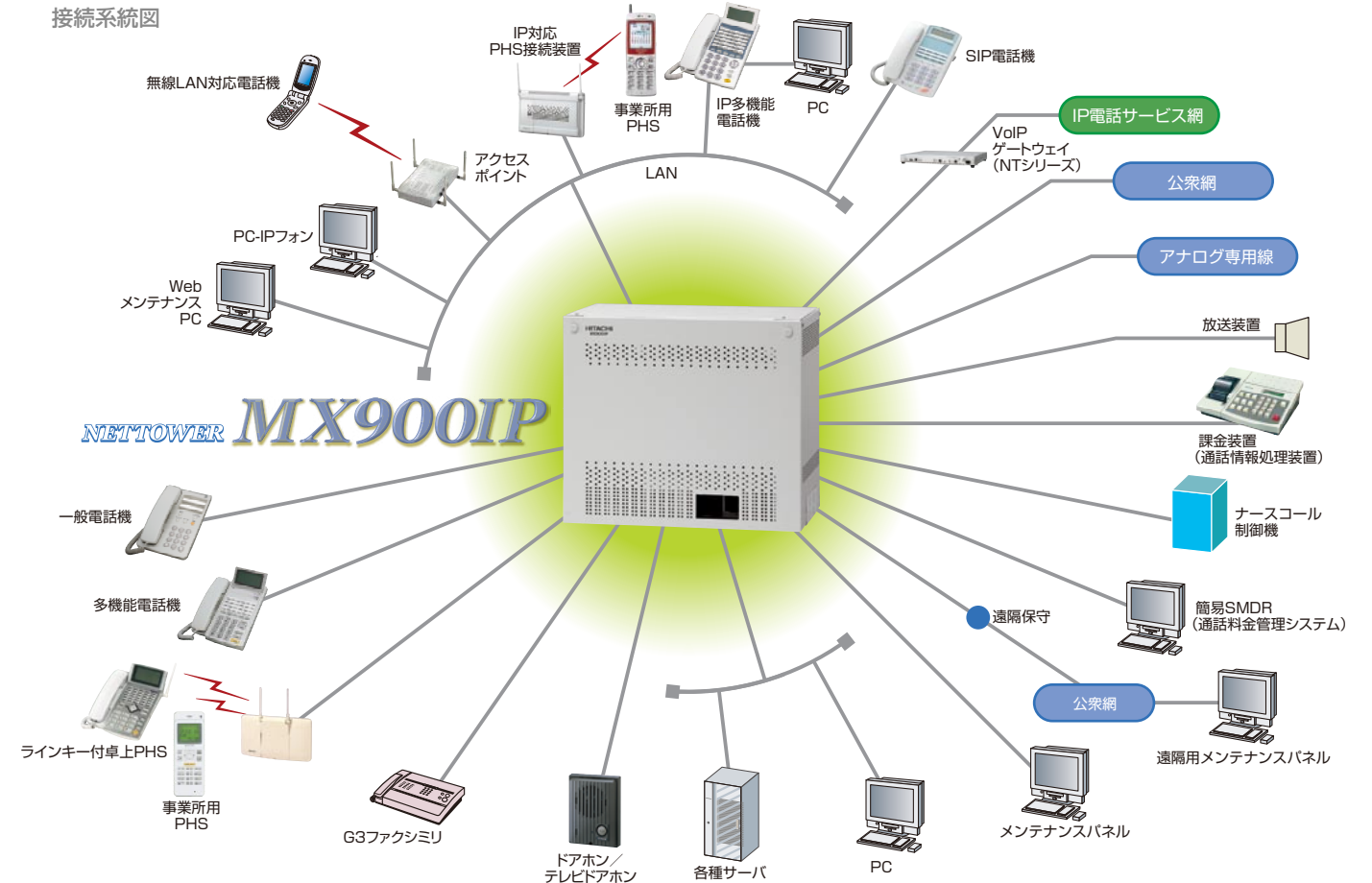


無線LAN機器



*E05SH (構内PHS/無線LAN) は、別途構内PHSカード/無線LANカードが必要です。

接続系統図



機能一覽

一般機能

- 内線相互接続
- ホットライン
- 短縮ダイヤル
- リセットコール
- リダイヤル
- 転送
- 不在転送
- 話中/不応答転送
- 口頭転送
- 転送電話
- 保留
- アッドオン
- 指令/会議
- 割込み
- コールアップ
- コールウェイティング
- 不在案内
- 内線代表
- 緊急通話キャンボン
- OQキューイング
- 緊急通話経路
- グループ着信
- 強制呼出
- LDR発信
- ドラックコホ排
- 分散着信
- ダイヤルトインライン(DIL)
- ダイヤルイン(DI)
- ダイヤルトインダイヤル(DID)
- 尾線着信
- 個別着信
- 電音通切替
- システム運用モード
- 専用線接続
- 専用線予約計画
- 専用線システム接続
- 一括発信
- 専用線アラーム監視
- 専用線キャンペーン
- タレントキューイング
- PBX間転送
- ドラック発信数字送出タイミング
- ドラック発信無ダイヤル接続
- VPN接続
- ビハインドPBX

- ルートアドバンス
- IPアドレス発信信号送出
- 通話中ダイヤル発信
- テナント
- PB電話機
- プリリング
- 着信音識別
- サービスクラス
- シングルディジット
- ロックアウト
- ハウラー音
- 保留音
- ベントン発信
- トランク指定発信
- 接続規制
- 特定宛先発信規制
- 特定ダイヤル内線呼出
- トランク相互接続
- 公衆接続
- 専公接続
- モジュラダイヤルイン
- 発信番号表示
- 席録
- ディジタルオナーコール連動
- 局線自動応答メッセージ送出
- トランク話中表示
- ドアホン接続
- トキー接続
- 規制呼びコール接続
- 外線不応答転送
- ダイヤル音響変換切替
- お待たせメッセージ
- 拠点間内線統合
- 着信音転送
- 保留キー転送
- 局線ダイヤル転送
- 局線話中転送
- 保留一時発信規制
- 内蔵スケジューラ(週間、年間)
- システム着信履歴
- 接続点出力(電子錠)
- 内線着信表示(FAX着信)
- 自動折り返し発信
- 携帯電話コールバック
- 出退表示
- 局線表示盤
- PHS緊急メッセージ通報
- 福祉施設向けスタッフコール

VoIP機能

- IP多機能電話機
- IP対応PHS接続装置
- SIP端末内線収容
- PC-IPフォン
- PB連携(PC-IPフォン)
- IP電話サービス接続
- 音声が化(G.711)
- エコーキャンセラ

多機能電話機能

- ストレートライン
- バーチャルライン
- 仮想内線
- 内線ボタン
- 高機能内線ボタン
- スピーカ
- プリセレクション
- オートダイヤル
- メッセージウェイト(留守中着信)
- オートリタイ
- 局線先取り発信
- 音声呼出
- オフフック自動応答
- 転送完了
- DISC(Disconnect)
- キャンセル
- 不在メッセージ
- 着信音
- 7色着信ランプ
- ハズフリー
- DSS
- 着信着信前表示
- テナント名称表示
- ルート名称表示
- 不在転送先表示
- スライド表示
- 発信番号表示
- ネーム表示
- 2Wマルチ接続
- PHS位置表示
- ダイヤルイン番号名称表示
- 料金表示

簡易SMDR機能

- SQLサーバ対応
- 複数収信局管理
- 月報集計
- 期明け管理
- 帳票出力

ISDN機能

- ISDN局線接続
- ISDN局線着信
- 料金情報通知
- 番号通知
- ユーザ間情報通知
- 転送元番号通知
- INSボイスワープ対応
- 迷惑電話お断りサービス対応
- 1ナンパ対応

PHS機能

- 着信音識別
- 着信未応答警告
- 着信完了通知
- 着信完了転送
- 通話中情報転送
- 長時間保留警告音
- ロングフッキング
- データ通知
- PHS通話録音
- PSデータダウンロード
- ラインキー付PHS
- ラインキー付車上型PHS
- PHSナンバークラウドリビ
- 拠点間内線統合(PHSローミング)

内蔵音声録音機能

- オフフック自動通話録音
- ワンタッチ通話録音
- 通話録音宛先指定
- 再録音
- 録音内容の再生
- 録音内容の保存/消去
- 通話録音一時中断/再開
- 通話録音時間延長
- メッセージ転送
- 暗証番号
- 話中代行
- 不応答代行
- 不在代行
- 留守番モード
- 自動オペレータ
- 情報案内サービス
- 録音通知
- 発信者呼出し

留守番機能

- 留守録音
- 応答専用メッセージ
- 留守転送
- 話中着信
- 発信者による選択(録音/転送)

内蔵ACD機能

- 均等分配
- 着信順応答
- 着信待ち合せ
- 優先着信制御
- モニタ
- 割込み
- 待合せトキー
- あふれ呼トキー
- オーバーフロー転送
- イントラフロー転送
- 待呼数表示
- ベガカウント
- 発信者情報表示
- 統計情報帳票出力

保守機能

- 内部ラビック測定
- バックアップ自動認識/自動設定
- 運用データパターン選択
- 障害表示
- リモート保守
- 局データバックアップ
- 電話機からのデータ設定
- WEB保守

課金機能

- 内線着録音
- 全内線着信
- グループ記録
- トータル料金集計
- 発信転送課金
- 通話明細
- 通話履歴記憶
- 料金計算
- 料金切替
- サービス料
- 割引
- 消費税
- 国際課金
- 専用線課金
- 通話料金増徴選択
- タイミングスタート
- 警報出力
- アラロック
- ISDN料金通知課金
- ビジネス集計リスト出力

ホテル機能

- モーニングコール
- ルームスケータス
- ルームチェンジ
- 着信拒否
- パトリコール
- DSSインジケータ
- サービス登録規制
- サービス解除ステータス
- 発信停止
- サービスクラス切替
- ピーニングコール
- ルームインジケータ
- ホストCPU
- 簡易VIP表示

注1) ●の機能は基本ソフトウェアの他に別途オプションソフトウェアが必要です。

注2) ハードウェアについては、機能によって必要な機器(基板など)構成が異なります。詳細は別途お問い合わせください。

注1)●の機能は基本ソフトウェアの他に別途オプションソフトウェアが必要です。

注2) ハードウェアについては、機能によって必要な機器(基板など)構成が異なります。詳細は別途お問い合わせください。